

巡回日詩

0719

飛べ！

山定ロケット！！

小さなペットボトルが
命を吹き込まれたように
空に吸い込まれていく
それを真剣に追うキラキラの目

空は次第に帳を下ろし
あたりは暗くなっていく
空の暗さとは裏腹に
子供のようなキラキラの笑顔



理科の教員からペットボトルロケットの原理を学び、その後自分たちのロケットを製作。

そしていよいよ競技会。校庭で距離を競った結果、予想より遠くに飛びすぎて、測定不能となってしまいました。

しかしそれにしても飛びましたね。噴射された水も飛んでいました。

(笑)